

◆ 有機合成化学協会誌“キラル特集号”にダイセルの論文が掲載されました！ タイトルはズバリ「多糖系耐溶剤型キラルカラム”iCHIRAL”シリーズの開発と応用」



※有機合成化学協会より
許可を得て掲載

日本の有機合成化学者の愛読誌、有機合成化学協会誌5月号「キラリティ研究の最前線－合成、機能と分析－」特集号に当社からの総合論文が掲載されました。これは平成27年度セルロース学会技術賞(多糖系耐溶剤型キラルカラムの開発および事業推進への貢献)の内容を論文としてまとめたものです。

1992年から始まった血の滲むような開発のストーリーは、涙なくして読み進めない「プロジェクトX」を彷彿とさせる内容です。(田口トモヲさん風に)「多糖と会話しろ、そうすれば解決する！」と当時社内の誰かが言ったとか言わないとか…(その甲斐あってか？2004年にCHIRALPAK IA販売開始に至りました)。あわせて耐溶剤型キラルカラムの特長や応用製品であるキラル中圧カラム、キラルTLCをしっかりと紹介しています。最近心揺さぶられることの少ない貴方に贈る、ちょっとイ話??を是非、ご一読ください。

もちろん巻頭言の岡本佳男先生のお言葉をはじめ、キラリティ研究の素晴らしい論文が多数掲載されています。キラル研究に関わる皆様(関わらない皆様も)、お見逃しなく！

なお「別刷りが欲しい」と弊社にご連絡頂ければ、先着30名の方にご送付申し上げます。(大西(あ))

◆ 夏だ・祭りだ・日本プロセス化学会 サマーシンポジウムの開催だー！

今年も暑い夏がやってきます。みなさんは夏のイベントといえば何を思い浮かべますか？海水浴、花火大会、夏祭り、音楽フェス…？うーん、もっと大事なイベントを忘れていませんか？

そうです!! プロセスケミストの一大イベント『日本プロセス化学会 2017サマーシンポジウム』が大阪国際交流センターにて、2017年8月3日から2日間の日程で開催されます。

夏の暑さに負けにくいぐらいの熱い気持ちをもった研究者たちが、熱い議論を交わす本学会で、当社は2件のポスター発表をします。また展示ブースも出展します。

熱気あふれる会場で少しでも涼しくお過ごしいただけるよう団扇をご用意しておりますので、お顔を出していただければ…。皆様のご来場、お待ちしております。(宮本(し))



◆ 光学純度99%e.e.以上！ダイセルの高純度キラル試薬



CHIRAL REAGENT
e.e. Guarantee
>99%e.e.
DAICEL

もっと光学純度の高い試薬はないかなぁ、とお悩みのアナタ！当社では長年培ってきたキラルクロマト & 有機合成化学の技術を駆使した“高純度キラル試薬”を開発・販売しております。製品は当社キラルカラムで99%e.e.以上を確認しており、光学純度はお墨付きです！

ビナフタレンやスピロビインガン骨格を有した不斉触媒・不斉配位子や、キラルアルコール、キラルアミンなどのキラルブロック、アミノ酸類縁体など、さまざまな化合物を取り揃えております。

詳細は当社ウェブサイト(<https://www.daicelchiral.com/reagent.html>)をご参照ください。

試薬の在庫状況はsiyaku.com(和光純薬工業様試薬サイト)で確認できますよ。(宮澤)

【編集後記】キラルニュース@ダイセル(第2号)をお届けしました、如何でしたでしょうか？趣味の話で恐縮ですが、キラル小ネタを蒐集してまして大学の講義などで披露しています。実は国民的アニメ、ド○えもんにも、「フェルマー」というキラルネタがあります。鏡の向こうの世界から物体を取り出す道具ですが、出てくるものは鏡像体です。ドラ○もんが取り出したドラ焼きは、形(円盤形)は同じでも、「L体の糖やから腹こわすやん」と、つっこんだら、「ドラえ○んは猫型ロボットだから問題ないのだ」と言われました。さすが国民的アニメ、科学的考証まで深いなあ…(大西(あ))

発行元：株式会社ダイセル CPIカンパニー

〔東京〕 〒108-8230 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル

TEL : 03-6711-8222 FAX : 03-6711-8228

〔大阪〕 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB

TEL : 06-7639-7221 FAX : 06-7639-7228

ヘルプデスク フリーダイヤル : 0120-780-104

HP : <https://www.daicelchiral.com/>